



おそうじに挑戦中

いっぽでは、冬休みの長い活動時間を利用しておそうじに取り組んでいます。これは、室内でも体を動かせるように、しかも意義のある活動をさせたいと思い、掃除を取り入れました。初めての活動が面白いのか、子どもたちは大人の予想に反して、積極的に取り組んでいました。とにかく、子ども



もたちが一生懸命に働くので、今後もいっぽでの活動の時間が長い、土曜日や祝日などに取り組ませたいと考えています。働くことを嫌がらない子どもっていいですね。見ている方も幸せになります。



寒さに負ケズ...公園遊び

冬の間の隠れたテーマは、寒い中でも運動量をどうやって確保するかです。雪が降れば、積極的に外に出て雪遊びをしますし、歩ける状況であれば、周辺を散歩などの活動を取り入れています。1月22日はちょっと寒いものの、雪がなく、外に出られる状態でしたので、水梨コミュニティセンターまで歩いて、遊具で遊んできました。とにかく元気です。

かわいいお客様

まだ小学校に入学していない、児童発達支援の子どもたちは、主に午前中の利用です。帰るとき、担当者が車を取りに行っている少しの間は、事務室で過ごします。活動で制作した作品を見せたりして、事務室で仕事をしている職員からもほめられては喜ぶ姿が見られます。この頃は事務室の雰囲気にも慣れてきたのか、大きな声で喜んだり笑ったりしています。すっかり事務室のアイドル状態になっています。なお、放課後等デイサービスの子どもたちには、きちんと挨拶をして入ってくるように話してあります。小学生以上になるとちょっと大人の態度です。



かわいいオニ

看護師等が自宅に訪問して支援する、居宅訪問型児童発達支援でも、節分の雰囲気味わってもらいたいと、オニのかぶり物をつくりました。なお、目の色は目薬のためです。



豆まき?の準備

2月の豆まきに向けて、鬼にぶつける豆の準備を始めました。豆の代わりに使うのは、新聞紙を丸めたものです。みんなで新聞紙をクチャクチャにして大きめの豆を作りました。鬼は段ボールに顔を貼り付けて、口の部分に穴を開けました。鬼の口の中に豆を入れることができれば、鬼退治成功です。作る過程も鬼退治も楽しく活動できました。

土曜日はリハビリ



ほとんど、毎週土曜日に、理学療法士にお出でいただき、リハビリテーションに取り組んでいます。早いもので、もう1年以上になります。最初は嫌がる様子も少し見られたのですが、さすがプロの療法士です。上手に体を動かしますし、子どもたちも効果を実感できるでしょうね。今はみんな前向きに取り組んでいます。リハビリも計画を立て、毎回の反省を積み重ねて実践しています。

【アンケート協力をお願い】今年も2月中旬に事業所評価のアンケートを実施します。お手数ですがよろしくお願いします。